

2024年度のエジプト現地調査報告

～エジプトのTokkatsu指導者の
育成の現状と課題～



Tokkatsu指導者の育成の現状と課題

2024年度（12月）現在

TO（Tokkatsu Officer）・・・ 165人

CTO（Certified TO）・・・ 38人

2021/22年度・・・ 9人

2022/23年度・・・ 13人

2023/24年度・・・ 16人

増やすことが質保証



CTOになるための試験制度 (評価委員がTOを評価)

1次試験 (筆記試験)

- Tokkatsuの理論についての選択試験
- 授業動画を見て、指導ポイントを書く筆記試験

今年度の試験では、25人受験して9人が1次を合格

CTOになるための試験制度

2次試験（実技試験）

実際の授業を見て、評価委員の前で教員指導を行う

- ① 授業の場面でのTOの動きや情報収集
- ② フィードバック時の教員への指導、評価委員からTOへの質問、評価委員から授業者への質問

CTOになるための試験制度

2次試験(実技試験)

① 授業の場面でのTOの動きや情報収集

TO

授業者



(評価の観点)

① TOが授業をどの位置で、どんなことを観察しているか

② TOが授業参観時、情報収集と記録を適切に行なっているか

② フィードバック時の教員への指導、評価委員からT0への質問、評価委員から授業者への質問



③ フィードバック時のT0の指導・助言の内容が何項目触れていたか

④ フィードバック時の指導・助言のT0の基本姿勢

⑤ 授業者の授業のねらいを理解し、授業者の意図を汲みとりながら指導・助言をしているか

⑥ 授業者と信頼関係を築きながら、授業者が納得いったり、自信を深めたり、意欲を引き出したりできるような指導・助言をしているか。

TTCS 評価規準と評価基準

<授業観察時>

- 1 TO が授業を教室のどの位置で、どんなことを観察しているか。 ※TOの観察時の様子で評価するが、4,5については、TOへの質問によって評価。

1 Poor	2 Pass	3 Good	4 Very Good	5 Excellent
教室の後方など、1時間、同じ位置に立って(座って)、授業を観察している。	児童あるいは教師の一方しか見えない位置で授業を観察している。	児童の状況と教師の状況の双方を把握しようと、移動しながら授業を観察している。	3に加え、指導案、評価表などを用意して、授業を観察している。	4に加え、児童のノートやワークシートの記録内容なども観察し、写真やビデオなどで記録しながら観察している。

- 2 TOが授業観察時、情報収集と記録を適切に行っているか。 ※TOの観察時の様子から直接把握できない場合は、TOへの質問などによって評価。

1 Poor	2 Pass	3 Good	4 Very Good	5 Excellent
記録をとっていない。	記録をとっているが、断片的な記録となっている。	授業のポイントとなる児童や教師の発言等を記録している。	文字による記録に加え、写真やビデオなど画像による記録もとっている。	フィードバック時に授業の状況を再現できるくらいの記録をとっている。

<フィードバック時>

- 3 フィードバック時、TOが学級指導で大事にすべき事項についてどれだけ多面的に観察し、指導・助言をしているか。

※ フィードバック時のTOの指導・助言の内容が何項目に触れていたかを評価する。(指導・助言した内容が2項目以上に重なる場合もある)

1 Poor	2 Pass	3 Good	4 Very Good	5 Excellent
複数の指導すべき事項があるが、1項目だけの指導・助言になった。	複数の指導すべき事項があるが、2項目だけの指導・助言になった。	3項目に触れて指導・助言しているが、ポイントを絞らず指導・助言している。	4項目に触れて指導・助言しているが、ポイントを絞って指導・助言している。	5項目以上に触れて指導・助言しているが、教員のレベルに合わせて、ポイントを絞って指導・助言している。

授業展開

- ・ 「つかむ」「さぐる」「見つける」「決める」の各過程における目的の達成状況について
- ・ 適切な時間配分について

教師の指導(発問や助言、板書や資料など)

TTCCS制度の成果

- CT0のTokkatsuへの理解度は非常に高く、指導へのモチベーションも指導力も高い。
- CT0の質の高い指導により、一般教諭やT0の指導力の向上に繋がっている。




TTCCS制度はTokkatsuの指導者養成に大きく
寄与している。➡ Tokkatsuの質保証

日本との比較（任用と養成）

	エジプト	日本
TO・指導主事	<ul style="list-style-type: none">・ 各県からの推薦された者の中からPMUが書類選考して数を絞った後面接をして最終的に任用・ 年2回の全国TO研修会	<ul style="list-style-type: none">・ それぞれの自治体で、現場や前任の指導主事等の推薦により独自に任用・ 全国指導主事会 （文科からの伝達）
CTO	<p>TTCS制度による、厳しい試験に合格した者が認証される</p> <ul style="list-style-type: none">・ CTOがTOを指導	なし

エジプトの指導者養成システムから見た日本の指導者養成の課題

指導主事の質の平準化

- 
- ・ 指導主事の研修制度の充実
 - ・ CTOに当たるような指導主事を指導する指導者の養成

日本の特別活動の質保証につながる

2024年度のエジプト現地調査報告

The background image shows a classroom setting. In the foreground, several students are seated at desks, looking towards the front of the room. They are wearing red and black uniforms. In the background, a teacher is standing near a large screen displaying a presentation. The room has colorful walls and posters.

EJS・パイオニア校・既存校の 実践状況と課題

Tokkatsuを推進するための施策状況と
EJS,パイオニア校、既存校の状況報告

PMU

- : 2015年以降のTokkatsuの普及経緯の報告
- 2023年 既存校30校にTokkatsuが導入
- 2024年 EJS 学級活動から学校行事にTokkatsu導入
グレード7（中1）まで育成
- 一般校 日直、清掃活動が導入
今後、全中学校にもTokkatsu導入
- 普及方法 Lesson Studyの活用
27県に分け、問題点、ニーズに
合わせて対応
TOの研修（1年）→最終選考

ガルベイヤ教育委員会

既存校へのTokkatsu普及報告
オリエンテーションをEJSで実施、Tokkatsuの理念説明

現在885校中、既存校10校、他40校の計50校でTokkatsuを実施中
Tokkatsu優秀校を5校選出



視察したEJS・パイオニア校・既存校の共通項

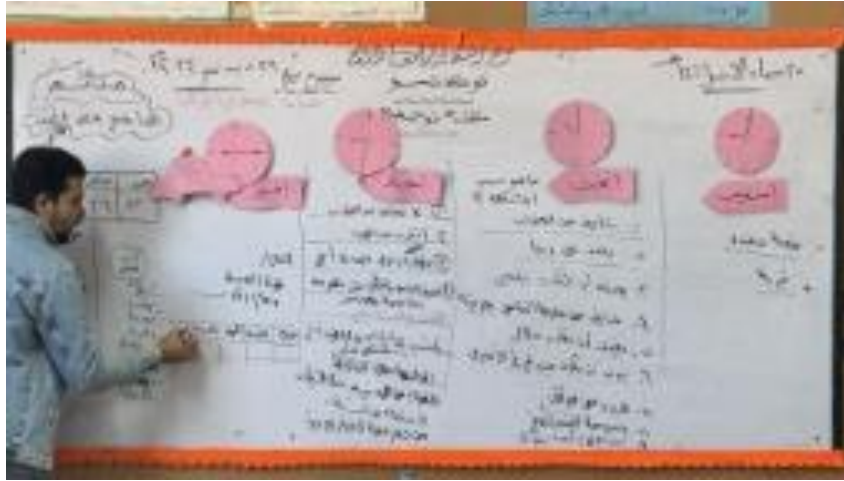
学級活動（1）の実践状況



- 司会グループによる運営の徹底（タスキ着用・役割ボードによる役割意識の自覚化）
- 「出し合う」「比べ合う」..「まとめる」の活動の流れの定着
- 意見ボードの活用および賛成・反対の記号表示などを用いた議論の構造化、可視化の推進
- 教師の見守り 姿勢の定着（子ども主体化の学級活動化）

視察したEJS・パイオニア校・既存校の共通項

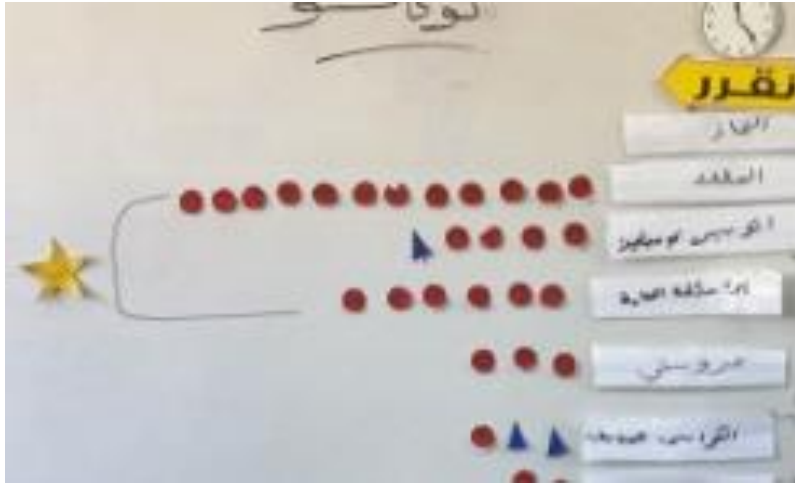
学級活動（２）の実践状況



- 「つかむ」「探る」「見つける」「決める」による活動の定着
- 教師の積極的な子どもへの問いかけ（発問）による議論の活発化
- 議論時間の目安の共有（学級活動（１）で用いる時間目安を学級活動（２）でも掲示）

EJS・パイオニア校・既存校における到達点と課題

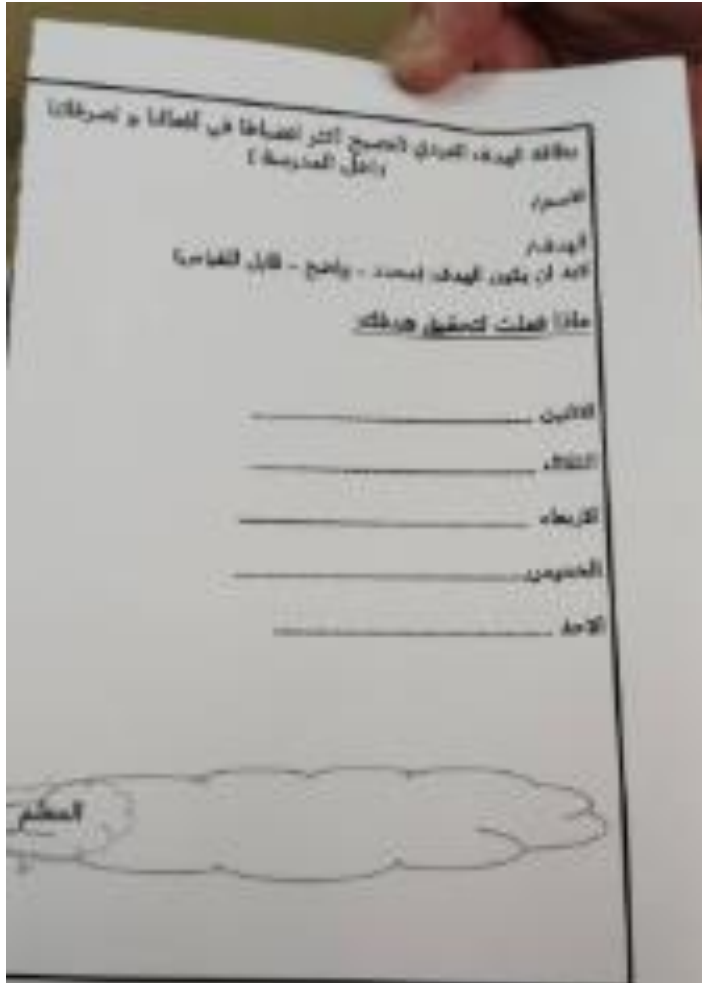
学級活動（1）



- 学級活動（1）の展開は、日本の小学校と
そん色がない。
- 中1では、生徒間で他者の意見を受け止め、
他者の意見を引き継ぎながら自分の意見を
再考するなど、意見の深まりが見られる
- 教師は、学級活動（1）での役割を十分自覚
し、学級活動の展開を図っている
（目に見えない事前準備も
- ◆ 最終的に賛成意見が多数集まったものが重要
視され、少数意見をどう生かすか、といった
各意見を尊重した折り合いを付けた合意形成
には至っていない

EJS・パイオニア校・既存校における到達点と課題

学級活動（2）



- 設定された題材は、日本の学級活動（2）で取り上げるような内容でそんな色がない。
- 教師の主導による子どもの意見を吸い上げる形で議論が進んでいる
- ◆ 子ども同士の話合いや検討がなされておらず集団活動としての話合い機能が十分に果たされてはいない
- ◆ 子ども自身に自分ごとの課題として認識するような話合い活動に至っていないため、個人が決定する内は、教師が示したものをそのまま決定するなど、具体性のない内容に留まっている

EJS・パイオニア校・既存校における到達点と課題

EJS

- 週1時間、学級活動を行う時間が確保されている。
- 中学生1年生になったことをきっかけに、はじめて学級委員を学級内で選出された。
- 学級委員をリーダーに運動会など学校行事でもTokkatsuを生かそうとしている。
- 公立学校教員に採用され、離職するEJSの教員が少ない。
- EJSの実践レベルの維持・向上するにあたり、EJSの教員確保が今後の課題となることが予想される。

パイオニア校・既存校

- 教育条件の悪い中（含む保護者・地域の理解）でパイオニア校、既存校の教師が学級活動を実践しようと鋭意、努力している。
- 日直、清掃活動等は定着している。
- 実践に関する新たな知見を得られる機会はEJSの教員（含む校長）に比べて低い。
- 実践内容を深めるためには研修機会の充実・提供や授業研究による実践のレベルアップを図ることが今後の課題

エジプトの実践状況から見る日本の特別活動への示唆

- 学級活動（１）、学級活動（２）の活動・指導形式の定着
CTO・TO・スーパーバイザー等の指導・支援体制
が実践の一定程度の質の保証に寄与している



指導主事の育成・指導主事の指導内容の評価による
指導・支援の質的レベルの水準確保

- 小学校での学級活動（１）の実践経験が中学校での実践
経験に引き継がれている



特活で身に付けた資質・能力のキャリア形成化の工夫